

＼みんなの／

No.27

人権ハンドブック

部落差別

— 過去から続く差別を未来に残さないために —

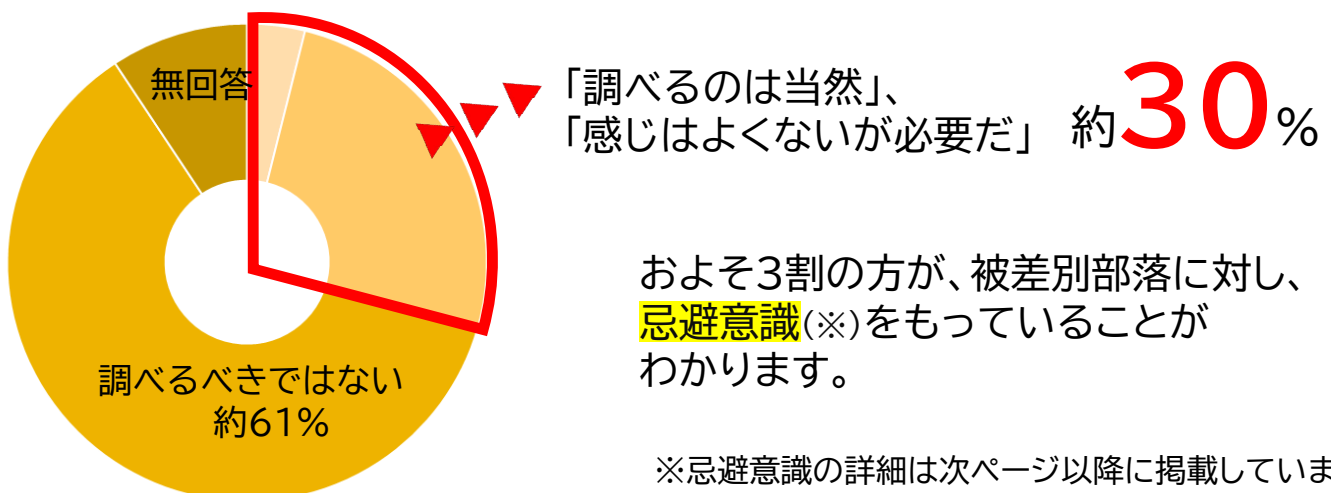
部落差別は、被差別部落と呼ばれる地域に生まれたり、居住しているだけで差別されることがあるという重大な社会問題です。

部落差別の起こりは、日本社会の歴史的過程で形づくられた身分制度に由来すると言われ、明治時代に身分制度が廃止されても、長い間、経済的・社会的・文化的に低い状態に置かれることを強いられてきた方たちがいます。

国は、この問題の解決に向け特別措置法(平成14年失効)を定め、道路や住宅など生活環境の改善が進められました。しかし、現代でも、被差別部落への偏見は根強く残り、結婚や就職といった日常生活の場面でいわれなき差別を受けるなどの問題が発生しています。

伊勢市でも・・・ 伊勢市人権問題に関するアンケート調査(令和4年実施)より

Q 身内に、結婚の話があったとき、あなたの家族が相手に気づかれないように、被差別部落地区の人であるかどうか調べようとしたとすると、あなたはどのように感じますか？



実際に、こんなことが起きています…

就職採用試験で
応募書類に
本籍地や出生地を
記入する欄がある

被差別部落内の公営住宅等に
約1800枚の差別的な文書が
ばらまかれた



購入した土地が被差別部落であると判明したとして、三重県の教員夫妻が契約を解除。被差別部落であることを伝えなかったとして宅地建物取引業者の対応を非難

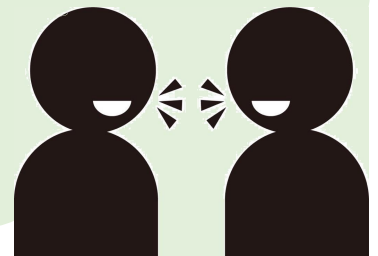
→県差別解消条例に基づき、知事から説示を受ける

🔍 条例の詳細は
県ホームページへ



被差別出身と
いうことがわかったら
婚約を破棄された

大阪港湾局職員が出張中の公用車
内で部落差別を意図する言葉を執拗
に使用し同僚を誹謗中傷



インターネット上でも…

〇〇地区は
被差別部落

被差別部落出身
有名人50選！



- 各地の被差別部落を撮影し動画サイトへ掲載
- 被差別部落地名リストの流出
- 被差別部落出身であると暴露
- 被差別部落出身者への誹謗中傷



SNS上の差別的投稿を鵜呑みにしたり拡散するのはやめましょう！

きひ 忌避意識って!?

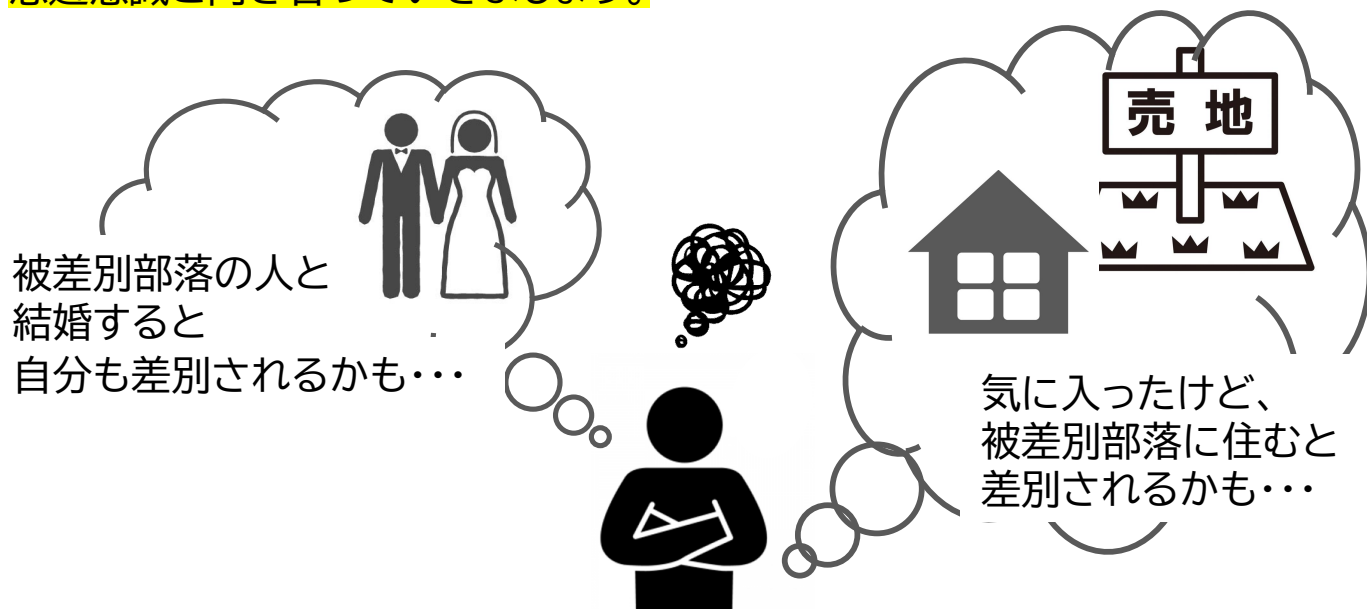
被差別部落や被差別部落出身者等を避けようとする意識。

「被差別部落やその出身者を差別するつもりはないし、強い偏見があるわけでもないけれど、ただ、差別される側になることだけは避けたい」という気持ちから生じる意識とされています。

結婚や就職、土地購入の時に起こってしまう差別の背景には、この「忌避意識」があるといわれています。まわりから被差別部落出身とみなされて差別されるのではないかという不安から、被差別部落出身者との結婚を避けたり、被差別部落に住むことを避けたりします。

本人に差別する意図や偏見をもっている意識がなくとも、忌避意識は差別につながってしまいます。今もなお、理不尽な差別を受けている人がいます。

私たち一人ひとりが、自分自身の中に被差別部落に対する忌避意識はないか、見つめなおすことが必要です。自分の中にある忌避意識の存在に気づいたら、忌避意識と向き合っていきましょう。



部落差別をなくすための法律があります

部落差別の解消推進に関する法律（平成28年施行）

💡 こんなことが書かれています

- 1 いまもなお、部落差別は存在する
- 2 部落差別は許されないもので、なくさなければならない
- 3 国民一人ひとりの理解を深めるため、国や地方公共団体は、部落差別をなくすための教育や啓発を行う

🔍 法律の詳細は市ホームページへ



部落差別をなくすために

「●●ない」をなくしていきませんか

よく
わからない

知らない

関心がない

私には関係ない

部落差別なんて
ないんじゃない



ご存じですか？

伊勢市は
人権尊重都市
を宣言しています！



伊勢市人権尊重都市宣言

すべて国民は、日本国憲法のもと、基本的人権が保障され自由で平等な社会の実現を願っています。

しかしながら、現実の社会生活においては、今なお人権が侵害される事象が見受けられます。

今こそ、市民一人ひとりが人権尊重の精神に徹し、より豊かな人権感覚を身につけることが大切です。

よって私たちは、自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かで明るく住みよい地域社会を築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

平成18年7月11日

伊勢市

伊勢市人権施策推進協議会

事務局：伊勢市人権政策課

伊勢市岩淵1丁目7番29号

☎ 0596-21-5545